

＜視覚シンボルとは＞

対象となる物事を分かりやすく表現した「絵」のことで、音声言語や文字によるコミュニケーションが難しい場合の補助代替コミュニケーション手段として活用されているものである。

＜視覚シンボルのメリット＞

- 1回の指差しで1語彙を示すことができるため、運動負担が少ない。
- 手話やサインに比べて意味していることが相手に伝わりやすく、障がい者だけでなく、小さな子どもや高齢者などすべての年代で理解しやすい。
- 言語の違いに関わらず、外国の人ともコミュニケーションができる。

＜視覚シンボルの種類＞○ PIC ○ PCS ○ ザサウンズアンドシンボルズ ○ ドロップス など…

《本校で多く活用されているドロップスの特徴》

内容がシンプルで分かりやすいため、混乱しにくくコミュニケーション、学習、行動手順を簡単に示すことができる。

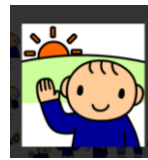
《ドロップスの種類》

1 人・植物 2 動き・様子 3 飲食物
4 家の中 5 家の外 6 文化・社会
大きなカテゴリーで構成されており、「幸せ」、「悲しい」などの一般的なシンボルから「ブランコを押す」「エピペンを打つ」といった幅広い種類のシンボルがある。

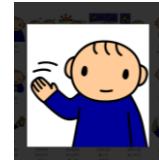
《学校生活で活用できるものの例》

○ あいさつ

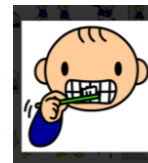
「おはようございます」 「さようなら」



「はみがき」



「トイレ」



1つのシンボルで、「トイレ」に「行く」、「行きたい」などを表すことができる。

《校内での視覚シンボルの活用例》



《活用している理由》

- 児童生徒が見通しをもって1日を過ごすことができるように時間割に取り入れている。
- 活動内容を簡潔に伝えることができるため、ひらがなや漢字の認識が難しい児童生徒もイメージをもちやすい。

《時間割に活用した成果》

- 次に何をするか理解をして、学習に使用する道具を準備することができている。